広島市植物公園
見どころ案内

2019年6月8日
通巻第418号

ハナショウブ＆
アジサイまつり開催中
6月1日～23日までの土日

展示会のご案内

◇展示資料館 1F（6/8～6/10）
初夏の小品盆栽展

◇展示温室（6/8～6/13）
ウチョウラン展

◇屋外展示場（6/1～6/23）
アジサイ展

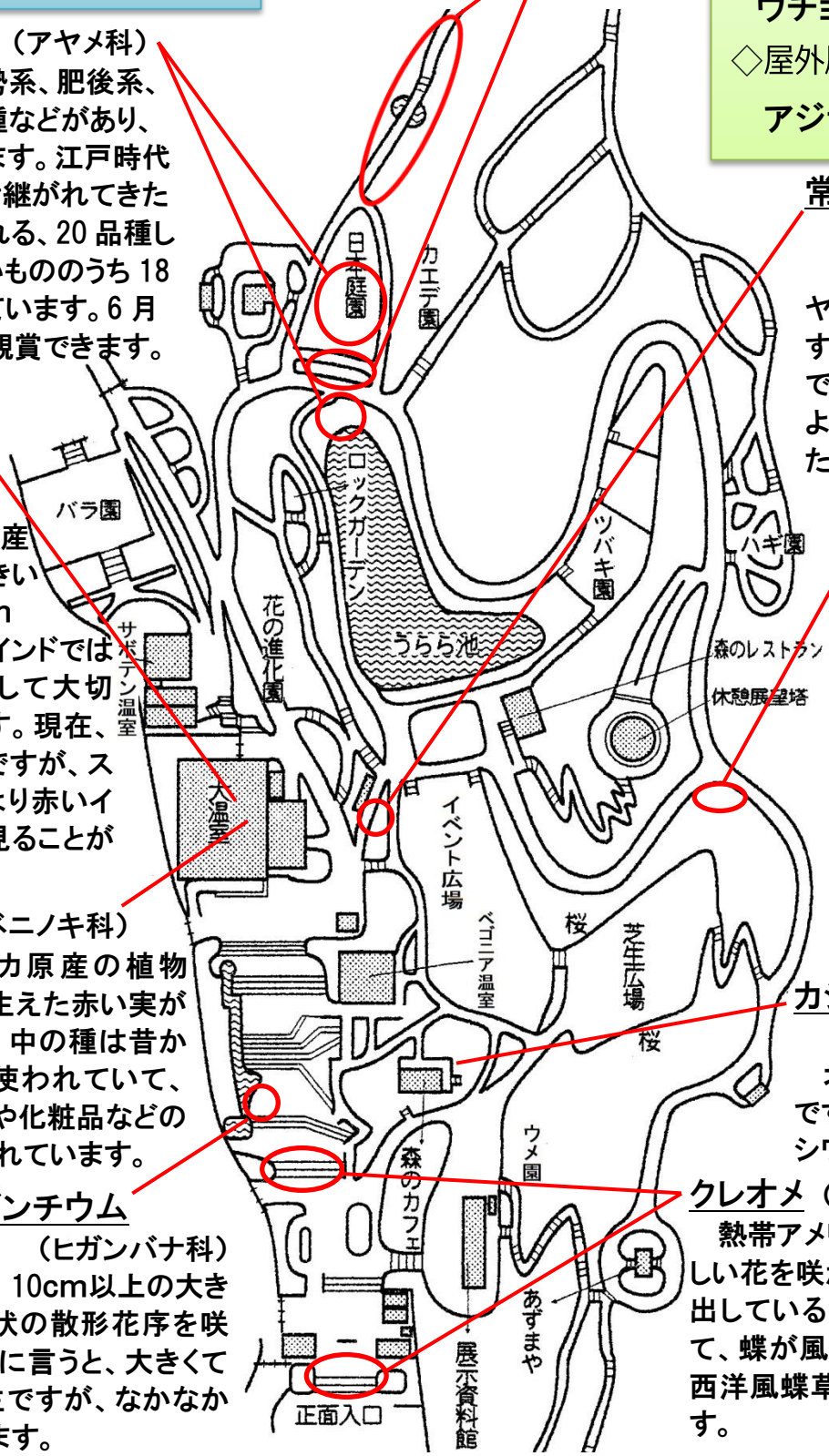
アジサイ（アジサイ科）
日本原産の植物で、梅雨の植物＝アジサイといってもいいほどお馴染みの植物です。一般的に花と言われている部分は装飾花といい、中央に小さくあるのが本当の花です。約 140 品種、約 1800 株を見ることができます。

ハナショウブ（アヤメ科）
江戸系、伊勢系、肥後系、長井系、野生種などがあり、咲き始めています。江戸時代から連綿と受け継がれてきた菖翁花と呼ばれる、20 品種しか残っていないもののうち 18 品種を保有しています。6 月中～下旬まで観賞できます。

ベンガルボダイジュ
（クワ科）
熱帯アジア原産の常緑樹で大きいものは高さ 30m にもなります。インドでは聖樹の一つとして大切にされています。現在、非常に小さいですが、スロープデッキより赤いイチジク状果を見ることができます。

ベニノキ（ベニノキ科）
熱帯アメリカ原産の植物で、今は毛が生えた赤い実がなっています。中の種は昔から染色などに使われていて、現在でも食品や化粧品などの着色料に使われています。

アリウム・ギガンチウム
（ヒガンバナ科）
ネギの仲間で 10cm以上の大きなソフトボール状の散形花序を咲かせます。簡単に言うと、大きくて綺麗なネギ坊主ですが、なかなか見ごたえがあります。



常緑ヤマボウシ
（ミズキ科）
中国原産の植物で日本のヤマボウシによく似ています。違いは、名前の通り常緑で落葉しません。ヤマボウシよりもさらに多くの花をつけるため、見ごたえがあります。

オランダボダイジュ
（アオイ科）
ボダイジュと名前はついていますが、クワ科のインドボダイジュなどとは違い、実際にはヨーロッパ原産でシナノキの仲間です。中世ヨーロッパでは自由の象徴とされました。花には甘い微香があり、虫がよく集まります。

カシワバアジサイ
（アジサイ科）
北米原産のアジサイの仲間です。ピラミッド型に咲く花とカシワのような葉が特徴です。

クレオメ（フウチョウソウ科）
熱帯アメリカ原産の一年草で夏に美しい花を咲かせます。花は雄しべが突出しているという変わった形をしていて、蝶が風に舞っているような姿から西洋風蝶草（風潮草）の別名があります。

✿毎週土・日曜日・祝日 午後１時半～３時２０分は、ガイドボランティアが園内を案内します✿
✿毎月第２火曜日・第４土曜日 午前１１時～は、職員による植物うんちくガイドを実施しま